

審 議 経 過 No. 1

■平成26年度第2回伊万里市子ども・子育て会議 議事録

- 日 時 平成26年7月22日(火)19:00～20:15
- 場 所 伊万里市民センター 2階 一般教養室1
- 出席委員 12人出席
- 事務局 事務局 6人、コンサル2人、WG3人 計11人
- 会議記録(敬称略)

1 開会

進行:福祉課長

2 辞令交付

市民部長から各委員(代表して原田委員へ交付)

3 あいさつ

- ・市民部長あいさつ
- ・委員紹介
- ・会長選任 会長 原田委員 副会長 金原委員

4 議事

(1)伊万里市次世代育成支援後期行動計画の評価について

事務局 説明

(2)ニーズ調査を踏まえた教育・保育の「量の見込み」について

事務局 説明

(伊東委員)

教育・保育事業の量の見込みについて、どのような傾向になると見込んでいるのか。

(事務局)

人口が減少していくと見込んでいるため、それに伴って、ニーズ量も減少すると見込んでいるが、0歳児については、増加していくと見込んでいる。

審 議 経 過 No. 2

(3)伊万里市子ども・子育て支援事業計画骨子案について

事務局 説明

(4)子ども・子育て支援新制度に係る各種基準を定める条例(案)の概要について

事務局 説明

(川久保委員)

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について、基準どおりにできるかどうか不安である。「利用者が、明るくて、衛生的な環境において」と書いてあるように、施設の充実について、十分協議してもらって、計画を作成してほしい。

(事務局)

十分に配慮するように考えているが、財政負担が強いられるので、財政当局と協議しながら、計画に盛り込む内容について、皆さんの意見を参考にして、検討していきたい。

(会長)

3歳児健診の後、小学校就学前まで、期間が空いている。健診では特に問題は無い子どもでも、集団生活にうまくなじめないなどの子どもが見受けられるため、小学校就学前の5歳児健診について検討していただきたい。

(事務局)

そのような相談を保育園や幼稚園から受けることがある。昨年幼稚園児を対象として5歳児アンケートを取ったが、あまり要望は無かった。しかし、昨年唐津市は希望者の5歳児相談を始められ、伊万里市でも要望が多くなれば、検討していかなければならないと考えている。

(川久保委員)

一般の市民の方を対象とした子育て関係の研修はあるか。

(事務局)

ファミリーサポートの提供会員さんの分だけで、一般の方に対しては無い。

審 議 経 過 No. 3

(川久保委員)

武雄市では多くの研修があつているので、伊万里市も良いところは真似てほしい。伊万里市主催の研修を受けた人が放課後児童クラブや保育園で働いてもらおうと保護者の人なども安心して子どもを預けられると思う。

また、武雄市で行われているように伊万里市でも、中高生と小さな子どものふれあう機会を増やしてほしい。そうすることによって、自然と地域で子育てに力を入れているということが身についていくと思う。

(金原委員)

今回、この制度を作るにあたって、アンケート結果にあるように、医療費のこととか、学校の老朽化とか、そういうことも含まれたものになるのか。

(事務局)

財政負担が生じる部分もあるので、財政当局と協議し、委員の方の意見を踏まえながら、検討していきたい。

(金原委員)

アンケートの自由意見に対して、回答するのか。

(事務局)

委員の皆さんに知ってもらうために、配付している。個別に回答することは無い。

(草場委員)

0歳児のニーズ量が増えていくということだが、受け入れ態勢はどうするのか。

現在の認可外保育施設が小規模保育事業に移行した場合、延床面積の要件で、現在の半分の子どもしか受け入れられなくなる。あふれた子どもたちは、どうなるのか。

そのような子どもたちの受け入れ先として、家庭的保育事業(保育ママ)を進めてはいただきたい。

(事務局)

委員のご意見のとおり、受け皿として家庭的保育事業が機能していけば良いと思うので、検討していく必要があると考えている。

5 閉会

事務局 次回は8月下旬を予定している。

以上